

公共性の構造転換

市民社会の一カテゴリーについての探究

ユルゲン・ハーバーマス 著 細谷貞雄・山田正行 訳 未来社（1994年）

生成AIという「人類最大の技術」が最初に私たちにもたらしつつあるのは、皮肉にも、サイバー常時攻撃の「セキュリティ・クライシス」とも呼べる、情報社会の〈安全の危機〉でした。

技術による真正性証明と信用経済が瓦解の瀬戸際にある中で、人と人どうしがコミュニケーションをとおして「信頼する空間」＝公共圏が、再び注目されます。

人類に〈公共〉概念をもたらした巨星の死を悼みつつ、その金字塔を購読します。素人歓迎！

2026年 10月 27日 (火) – 2026年 1月 26日 (火)

全 8 回 オンライン開催 18:00 - 19:30

第一講 2026年10月27日 一九九〇年新版への助言	第五講 2026年12月15日 市民的公共性 イデーとイデオロギー
第二講 2026年11月10日 市民的公共性の一類型	第六講 2026年12月22日 公共性の社会的構造変化
第三講 2026年11月17日 公共性の社会的構造	第七講 2027年1月12日 公共性の政治的機能変化
第四講 2026年12月8日 公共性の政治的機能	第八講 2027年1月26日 公論の概念のために

申し込みはこちら！

右記QRコード (<https://forms.gle/GLbVbLo8HuxY2a4t5>)
あるいは下記メールアドレス宛にお申込みください。
fosterplan@learningcrisis.net
お申込みいただき次第、開催当日までにZOOMのURLや開催詳細をお知らせ差し上げます。



Produced by
Learning Crisis 研究会

 まなキキ
<https://learningcrisis.net/>